

8月24日審議会における主な意見

1 基本的な考え方
(1) この審議会は、統合校が適正規模に届かない場合に、魅力ある学校をつくり児童を増やそうとする考え方で、特色を出すことが我々の使命のひとつである。 (2) みんなが多摩市に越してくるために、全ての公立の小学校が良くなって欲しい。
2 教員等の人的配置について (少人数規模をベースとする学級経営・学習活動)
(1) 統合については、人的支援が大変重要である。 (2) 今の学校の先生は、教科を教えることのほか、子どもの指導以外に関してもやるべきものが増えている。 (3) 魅力ある学校をつくることにより、児童数を増やしていくためには、今までと同じやり方でなく、人的配置の対応が重要である。
3 特別支援学級（固定学級）について (特別支援の更なる充実)
(1) 統合にあたっては、特別支援の充実が重要である。 (2) 固定学級の設置については、審議会としてどのように求めていくか、検討する必要がある。
4 統合新校の特色について (連携教育の推進、国際理解教育の推進、新規施設・設備の設置による新たな体験学習)
(1) 統合で使用しなくなる学校にキッズニアみたいなものが出来たらいい。 (2) 最近の学校では、屋上緑化や壁面緑化に取り組むこともある。
5 施設整備について (新教育課程や児童の心や情操面に寄与する施設整備)
(1) きれいさ、清潔感、そんなイメージをもてる学校にすることは大切である。 (2) 保護者が学校を選ぶ際に地域から何か目に見えるようにすることは必要である。 (3) 統合したらこんないいことがある、楽しそうであるといった、施設改修等ハード面で見える何かがあればいい。 (4) 以前の学校統合では、仮校舎を利用し、改修工事を行っていたが、今回はどのように行なうのか。 (5) 魅力ある学校のひとつとして、外から目に見えるものとなるので、芝生化はいいと思う。 (6) 芝生化は、管理が大変であるが、大変さの何倍もよさがあり、安心感がある。 (7) 芝生化も、全てしているところ、周りをしているところいろいろな学校がある。
6 二小学区を検討対象とすることについて
(1) 統合校の児童数を増やす方法として、通学区域の拡大による児童数増加も考えられる。

※ 学校統合時の留意事項

- (1) 通学路の安全確保について
- (2) 仮に統合する場合、改修工事後に学校統合をすることは出来ないか。